

2. 医療的ケア児等コーディネーターの配置状況等

(1) 医療的ケア児等コーディネーター養成研修等の受講の有無に関わらず、医療的ケア児等コーディネーターとしてその役割を担っている方の人数等

県機関名	配置年度 (予定も含む)	人数	内訳 人数		設置期間 (コーディネーターの所属)	職種
			研修受講あり (予定を含む)	研修受講なし		
愛知県医療療育総合センター	平成30年度 令和3年度	2	2	0	愛知県医療療育総合センター 地域支援課	相談支援専門員 その他
愛知県青い鳥医療療育センター	令和元年度	1	1	0	愛知県青い鳥医療療育センター	相談支援専門員
愛知県三河青い鳥医療療育センター	令和元年度	1	4	0	愛知県三河青い鳥医療療育センター	その他

令和3年5月現在

[資料3-2-1]

[資料3-2-2]

(2) 医療的ケア児等コーディネーターの活動状況

令和3年5月現在

県機関名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
愛知県医療療育総合センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児者の退院時カンファレンスや個別支援会議への参加。</li> <li>協議の場への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児の退院時カンファレンスや個別支援会議に参加し、必要な情報提供や業者などとの調整を行った。</li> <li>春日井市の協議の場に参加した。</li> <li>重症心身障害児者や医療的ケア児者の相談に応じながら、レスパイト入院やショートステイの調整を行った。</li> </ul>	<p>コロナの影響で施設（病院）側の受け入れのキャパが制限されているので、調整に苦慮した。 知的障害や身体障害が軽い医療的ケア児者の受け入れは難しい。</p>
愛知県青い鳥医療療育センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>海部圏域相談支援専門員へ勉強会の実施</li> <li>尾張中部圏域児童発達支援事業所（重症児デイ）から事業所運営・展開の相談</li> <li>協議の場、個別支援会議への参加</li> <li>圏域内相談支援専門員より医療的ケア児・重心児支援の相談・助言</li> <li>各圏域内で障害児や医療的ケア児等の支援の相談やフォローしあえる体制について提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域アドバイザー事業（愛知県障害児等療育支援事業との共催）にて、海部圏域相談支援事例検討会にて医療的ケア児支援について、三河青い鳥医療療育センターの医療的ケア児等コーディネーターと連携し勉強会を実施した。</li> <li>児童発達支援事業所（重症児デイ）へ、他事業所の取り組みや発達保障、あそびの提案、親子行事等助言・提案を行った。また、今後重心を対象とした放課後等デイサービス、生活介護を展開する計画があり、年齢や医療ケア度に応じた支援、地域のニーズについて説明・助言を行った。他圏域ではあるが、好発事例のある事業所を紹介した。</li> <li>単独行政による医療的ケア児連携会議、事例検討会に出席し、助言・ケース検討を行った。</li> <li>圏域内相談支援専門員より、医療的ケア児支援に当たり、手帳未所持乳児の重心支給決定の方法や、サービス調整方法、保護者支援、関係機関との連携方法について相談を受け、助言・提案等を行った。</li> <li>圏域内自立支援協議会で障害児の相談支援を受入した際に、母親支援や医療への知識・経験不足の不安の声があり、圏域内で相談支援専門員同士で相談したり、フォローしあえる体制整備、保健センター等の関係機関との連携体制整備について提案を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍のため、集合同議・研修会の実施がほとんどなく、感染状況を見ながら、勉強会の実施や事業所訪問を行った。</li> <li>海部圏域では障害児のセルフプラン率が高いが、医療的ケア児等コーディネーター研修修了を機に、医療的ケア児、重心児の相談支援受入の意識が高くなった反面、専門職として求められる不安も強くあった。勉強会を機に相談支援専門員から医療的ケア児や重心児の支援の相談を受けることが増えた。実際に受入開始した相談支援事業所が増えている。</li> <li>海部圏域では、医療的ケア児部会がほとんどなく、三河青い鳥医療療育センターへ専門部会の取組紹介を依頼した。一部の市町村では、令和3年度以降で専門部会立上げの検討につながっている。</li> <li>地域により、医療や母親支援に対する不安の声が多くある。各行政単位、各自立支援協議会単位で相談できる場や受入に際し同行やフォローできる体制も必要だと感じる。また、医療的ケア児等コーディネーターも不安を持っているため、フォローする自信を持っていないことも少なくない。</li> <li>児童発達支援事業所では、療育内容や行事等を事業所内で検討している。事業展開途中のため相談や連携依頼があった。事業所間が交流・情報交換する機会にもなった。重心児・医療的ケア児を受入している事業所間の交流を持てる場、支援について相談できる場があると良いと感じる。</li> <li>愛知県の医療的ケア児等コーディネーターとして、三河青い鳥医療療育センターと連携して勉強会に取り組めたことや成果として感じる。今後も役割を持って取り組んでいけるようにしていきたい。引き続き、役割の明確化、県内行政への周知をお願いしたい。</li> </ul>

県機関名	活動内容		活動上の成果や課題
	概要	詳細	
愛知県三河青い鳥医療療育センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町（岡崎市、安城市、幸田町）の協議の場（医療的ケア児に係る専門部会）への参加</li> <li>・西三河南部東圏域の医療的ケア児等コーディネーターの活動状況把握。</li> <li>・他の相談支援事業所への情報提供。</li> <li>・令和2年度相談員事例検討会医療的ケア児支援勉強会に講師として参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町の協議の場で、医療的ケア児に関わる課題確認、情報共有を行った。</li> <li>・現状の福祉サービスの要綱について、医療的ケア児に対応できるよう改正ができないか個別課題から提言を行った。</li> <li>・町独自事業の要綱改正について、意見を出した。</li> <li>※すべての市町で新型コロナウイルスの影響を受け、部会は書面開催となった。</li> <li>・岡崎市、幸田町、西尾市の医療的ケア児等コーディネーターの活動状況を共有した。</li> <li>・医療的ケア児の計画相談を担当している他の相談支援事業所から相談を受け、社会資源等、情報提供を行った。</li> <li>・海部障害保健圏域アドバイザー事業と愛知県青い鳥医療療育センター障害児等療育事業共催の勉強会に講師として出席。西三河南部東圏域と安城市の自立支援協議会について講話を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内の協議の場に参加することで、個別課題から施策提言を行うことができた。結果として事業の要綱改正には至らなかったが、今後も行政、関係機関と共に医療的ケア児の生活状況や課題について共有し、理解を深めることが必要。</li> <li>・医療的ケア児等コーディネーターの活動状況を確認することで各市町のコーディネーターが考えている市町の課題を知ることができた。委託費が生じていないコーディネーターの役割は明確化されておらず、それぞれのマンパワーで個別課題、地域課題に対応していることが課題。</li> <li>・勉強会を通して医療的ケア児の生活や資源、協議の場について理解を深める場を持つことができた。</li> </ul>